

# 企画部・活動方針（案）

企画部長 齊藤 聖  
企画部付 広川 毅  
" 厚朴 善太  
" 橋本滝太郎

## 《活動目標》

1. 組織部とタイアップしながら新たな入会につなげる企画作りに取り組んで行こう。

入会の増加に取り組んでいる組織部とタイアップしたイベント等をおこなうことによって、現会員だけでなく、様々なろうの仲間を巻き込める内容、入会の拡大につながる企画作りに取り組みたい。

2. 千葉県聴覚障害者協会創立 70 周年記念大会 & 第 35 回耳の日まつりを成功させよう。

千葉県聴覚障害者協会が発足して 70 年目ということで、当協会を支えて下さった方々に感謝するとともに千葉県民にろう問題を啓蒙し、更なる発展を目指すために千葉県聴覚障害者協会創立 70 周年記念大会を、耳の日まつりと兼ねて開催する。この大会を成功させるべく、活動運営委員会が中心となって取り組んで行く。

3. 関係団体の親睦を深めよう。

1 年に一度の行事である第 12 回千葉県聴覚障害者団体対抗ソフトボール大会というスポーツを通して、加盟協会、千葉県手話通訳問題研究会、千葉県手話サークル連絡会、千葉県ろう理容協会のそれぞれの団体が一同に参加して交流を深められる企画となっている。

全ての団体が参加できるよう、取り組みに留意して進めていく。

東葛地区ソフトボール大会は、現在の総武支部や葛北支部が組み合わせられた形として、スポーツを通して交流してきた長い歴史のある県主催としてのイベントである。

今後は県のソフトボール大会としての組織的整合性を図りながら、円滑かつ効率的な大会の試合の進め方の 1 本化を図っていく。

#### 4. 他県聴覚障害者関係施設の視察旅行

千葉県聴覚障害者協会は、一つの法人の中に事業体と運動体が一緒になって両車輪のごとく運営しており、関東では類を見ないのが特徴です。この組織の明確な理解によって、更に運動を進めることを目的として、他県聴覚障害者関係施設の視察旅行の計画を、組織部と取り組んで進めていく。

#### 5. ろう者将棋クラブ「千将会」

将棋クラブには、15名メンバーがおり、2ヶ月に1回のペースで土曜日に県センターでクラブを開催している。全国ろう者将棋大会でも入賞するなど、努力の成果が出ている。

一緒にろう運動を進める上でも、趣味の集まりは重要なコミュニケーションの場でもあり、「千将会」の活動をPRして将棋ファンを増やしていくなど、楽しみ方の多様化を増やして行きたい。

また、10月に館山市で開催される第38回関東ろう者大会の分科会として開かれる第22回関東ろう連盟杯将棋大会運営を全面的にバックアップして行く。また、千葉から上位入賞を目指すよう取り組みます。

#### 《事業計画》

- ・ 第33回東葛地区ろう者ソフトボール大会（6月下旬）  
＜総武支部＞
- ・ 第12回千葉県聴覚障害者団体対抗ソフトボール大会（10月）  
＜東総支部＞
- ・ 第35回耳の日まつり（3月6日）＜未定＞
- ・ 第15回全国ろう者将棋大会（2016年2月）
- ・ 第22回関東ろう者将棋大会（館山市・2015年10月）
- ・ 他県聴覚障害者センターなどの施設視察（未定）
- ・ イベント（組織部と）（未定）